



除雪サービス等の福祉施策

1年間何の取り組みもされていない!

竹田委員

「北の大地の福祉都市きこない」をメインとして掲げる第5次木古内町振興計画の集大成の最終年になる平成25年度の予算編成に当たっては、福祉関係予算を含めいろいろな施策が盛り込まれるものと期待をしていましたが、少し残念と言わざるを得ません。

昨年の予算等審査特別委員会でも、除雪サービス事業については、「新たな仕組みづくりに向けて検討する」という答弁でしたが実態はどうでしょう。どのような検討をしてきたのでしょうか。

また、「老人クラブ補助金の見直しについても実態調査を行ったうえで対応策を検討して欲しい」という意見が出されていますが、議会が終わってしまったえばそのままなのか、町長の考えを聞きたいと思います。

大森町長

当時のような豪雪地域では、除雪サービスは極めて大事です。高齢化率の上昇やここ数年の大雪による屋根の雪下ろし、自宅周辺の排雪が極めて困難な高齢者が多くいることも事実であることから、担当部局で検討を進め、9月まで

には結論を出したいと考えています。

現在の除雪サービスを拡大するには、予算の補正も伴うことから、現行の実施要綱にある負担のあり方やサービス内容を整理の上、総務・経済常任委員会に資料として提出したいと考えています。

また、老

人クラブの組織率の低下は、役員の高齢化や後継者不足とあわせ、ライフスタイルの変化により個人活動が主流となっており、参加者が減少しているものと認識しています。

新年度に



町職員が緊急時に対応した高齢者等の除排雪作業

入りましたら、ただちに老人クラブ連合会や各地域の老人クラブの皆さんと意見交換を行う中で課題や問題点を明らかにします。

改善に向けた支援を考えており、必要な予算は補正として検討させていただきます。

竹田委員

福祉灯油を実施していますが、ことは寒さも厳しく燃料も高騰しており、もう少し弾力的に対応できないでしょうか。

大森町長 その年により必要量も違うため、弾力的に運営できるか課題として検討したいと思います。

平野委員

ことは雪が多く、困っている高齢者がいる中で、なぜボランティア団体へ要請がなかったのでしょうか。

中島保健福祉課長

ボランティア団体は2件、緊急性があるということ職員も4件、屋根等の雪下ろしで出動しています。